

晃の園だより

平成24年4月発行



春が訪れました。梅、桃、桜、その他の花や新緑なども加わり、富沢が徐々に色づき始めました。冬の後に春が来る。当たり前のことですが、それでも降りそそぐ陽射しの暖かさに、肌に感じるそよ風の心地よさに思わず頬が緩む今日この頃です。

季節は巡るもの、春は毎年訪れてくれます。でも今年の春は去年の春と同じではありません。毎年が真新しい生まれだての春です。そして春を迎える私たち自身も毎年変わっていきます。身体も心も。毎年毎年その年だけの真新しい私たちが、その年だけの真新しい春を迎えています。

『限定品』という言葉に弱い私たち。今年だけの限定された私たちは、今年だけの限定された春をゆっくりと大切に楽しむとしましょう。

普段の生活の中で

特別なイベントでない普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者様の笑顔こそがととても大事なものに思えます。



職員が春を告げる梅の花を持ってきました。皆さんに楽しんで頂こうと、洗面台に飾ってみましたところ、早速入居者様が手で触れながらじっくりと梅の花を見ていらっしゃいました。今度はどんな花を飾りましょうか…。



職員が洗い物をしていると、入居者様が「手伝うよ」と言って自らキッチンへ入ってくださいました。楽しそうな雰囲気の中、どんどん家事がはかどります。何事も共同作業っていいですよ？自然と表情がやわらぐお二人でした。



向かいのベランダで、入居者様と職員と一緒に下の中庭を覗き込んでいます。昔の仕事の関係で樹木に詳しい入居者様が、中庭の樹木について色々話をしてくれました。二人の自然な雰囲気がとても微笑ましく思えました。

介護保険法が改定されました

平成24年4月から介護保険法が改定されました。今回の改定では介護報酬の見直しや職員の処遇改善に関わる変更などが行われており、特別養護老人ホーム晃の園と晃の園ショートステイでも、利用者様の負担金に関して影響が発生することとなりました。ご契約者の皆さまには、新しい重要事項説明書にて変更内容を説明させていただいておりますが、ご不明の点等あればお問い合わせください。（重要事項説明書は、晃の園のホームページでも確認いただけます）

大切な介護報酬を有効に活用し、より質の高い介護サービスを継続的に提供できるよう今後も努力してまいります。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページの掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、ぜひご覧ください。



お問い合わせは
☎ 054-270-1210
FAX 054-270-1253



インターネット ホームページ
ホームページ <http://www.surugakai.net/hikari/>
Eメール hikarinosono@surugakai.net

清沢小学校からの嬉しい贈り物

今年も沢山のものをいただきました

清沢小学校の子供たちが来園し、車椅子を寄贈してくれました。子供たちやその御家族が、アルミ缶などを定期的に回収し、お金に替えて購入してくれた車椅子です。5年生と6年生併せて14名の児童たちが、自分たちで司会や進行を担当し、贈呈式を含む立派な式典を開催してくれました。



箱から取り出されたばかりのぴかぴかの車椅子は、子供たちが作ってくれた千羽鶴と一緒に、園を代表された入居者様に渡されました。

毎年続く清沢小学校の子供たちからの車椅子の寄贈。園には子供たちから贈ってもらった車椅子と思い出がまたひとつ増えました。

子供たちと先生と一緒に創った唄にびっくり！

車椅子の贈呈式の後には、沢山の歌を聴かせてくれました。わだち、手のひらを太陽に、ドレミの歌、ふるさと…そして、最後の歌「君がいたから」は皆が肩を組んでの熱唱です。この歌は、なんと子供たちと先生と一緒に創った歌だというから驚きです。

この曲は清沢小学校のホームページで聴くことができます。是非アクセスして聴いてみてください。



歌の披露の後には、風船を使ってのミニゲームを楽しみました。風船を使って安全に楽しく…と子供たちが自ら提案してくれた遊びです。いくつかのグループに分かれてゲームが始まりました。あちこちで楽しそうな声が、入居者様と子供たち双方からあふれ出ていて本当に楽しそうでした。

みんなで車椅子を体験、遊びの中から学ぼう

式典が終わり、帰りのバスを待つ間に、子供たちに車椅子の体験会に参加してもらいました。車椅子に座る、車椅子を介助する。短い時間ではありましたが、子供たちには貴重な体験になったと思います。

遊びの延長のような感覚での体験ですが、それでも車椅子の感覚や怖さ、そして声かけや気遣いの大切さは実感してもらえたと思います。

今後、子供たちが自分のまわりで車椅子を利用されている人を見かけた時に、今日の経験が活かされることを期待しています。



清沢小学校の子供たちや先生、そして御家族や関係者の皆さまにお礼申し上げます。本当にありがとうございました。皆さんからいただいた車椅子は大切に使用させていただきます。



音楽リズムの先生とご友人

いつも音楽療法で来園してくださる先生とご友人が、コンサートを開催してくださいました。二つの会場で、それぞれ沢山の入居者様に楽しんでいただきました。先生の伴奏に合わせ、入居者様の素敵な歌声も聞かれた素敵なコンサートでした。



さわやかな歌声で春を呼ぶ音楽会開催

女性コーラスグループ コールレーベン

蕨科川の土手に満開となった桜のようなピンク色の衣装で歌声を披露して下さいました。曲の合間には、その歌にまつわるエピソードなど笑いを交えたとてもおもしろい話があったり、入居者様と一緒に歌う時間があったりであつという間の一時間でした。



“一緒に楽しむ”が秘訣

洋食、焼き肉、鍋物そしてラーメンなど…。近頃園内では、珍しい料理や雰囲気などを変えて食事を楽しむ様子を見かける機会が多くなりました。食事に関する様々な要望や企画が入居者様や職員から次々とあがっているようです。



食事の後で皆さんからお話を伺うと「美味しかったよ」「またやりたいねえ」という言葉をたくさんいただきます。「成功の秘訣は一緒に楽しむことなのだなぁ」入居者様と職員の様子を見ていてつくづくそう感じました。「一緒に楽しむ」を大切に、これからも取り組みを続けていきます。



腰痛予防教室開催 守・破・離(しゅ・は・り)で技術向上

静岡リハビリテーション病院の理学療法士の先生をお招きして腰痛予防教室が開催されました。講義では、腰痛の原因や「ボディメカニクスから介護を考える」といった興味深い内容で話を聴くことができました。「所作の美しい人の真似をしよう」武道に通ずる「守・破・離(しゅ・は・り)で技術を向上させよう」そんな言葉が印象に残った講義でした。

スポーツ選手は美しいフォームの人ほど技術も高いと言われます。介護技術も同じことがいえるそうです。まずマネをして、応用して、独自のものにする、これが「守破離」の考え方だそうです。介護ベッドやリフトなど設備を上手に活用していくと共に、職員自身の知識も高め、身体も整えていく。介護サービスを提供するプロフェッショナルとして、総合的な取り組みを続けていきます。